

すみだ北斎美術館



すみだと北斎

世界的な芸術家として評価の高い葛飾北斎(1760～1849)は、すみだの地で生まれ、およそ90年の生涯のほとんどをすみだで過ごし、優れた作品を描きました。

すみだ北斎美術館では、すみだの風景を描いた北斎作品も数多く収蔵しています。

北斎生誕の地・本所^{ほん じょ}割下水^{わり げ すい}



安政2(1855)年
「本所絵図」より、本所割下水付近

北斎は、宝暦10(1760)年に本所割下水(現在の北斎通り)付近で生まれました。割下水の名前の由来は、通りの中央に掘割が掘られていたためです。

北斎は幼少のころより物の形を写す(絵を描く)ことを好んだと伝えられています。



仮名手本忠臣蔵 十一だん目

北斎と忠臣蔵

北斎の曾祖父は、赤穂浪士討ち入りの夜、吉良上野介を守って討死にした小林平八郎だと北斎自ら語っていたそうです。



富嶽三十六景 御厩川岸より両国橋夕陽見

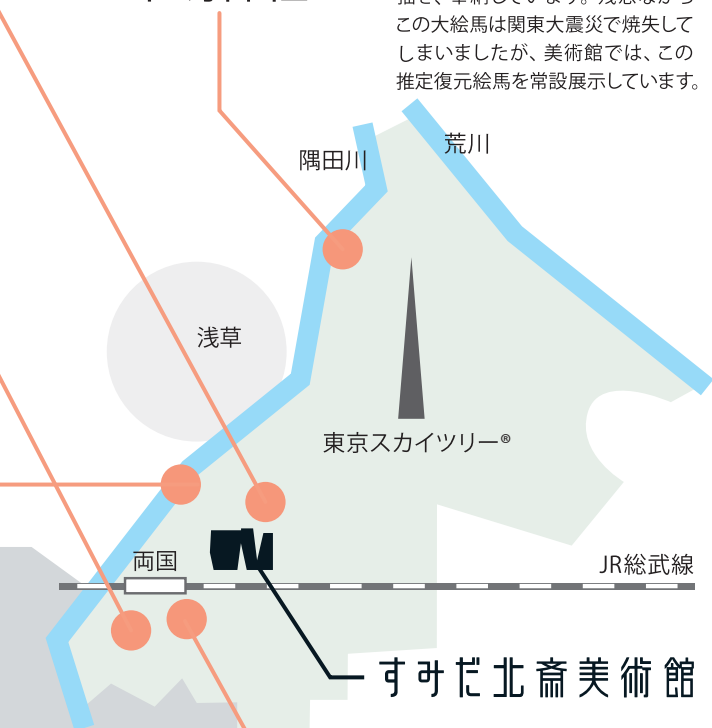
北斎が描いた隅田川

両国橋、厩橋、関屋の里、木母寺、隅田川神社、白鬚神社、新柳橋、駒止石…。北斎は隅田川のさまざまな光景や人々の姿をいきいきと描きだしています。



幻の奉納大絵馬 牛嶋神社

北斎は、弘化2(1845)年頃、牛嶋神社の近くに住んでいたといわれ、大絵馬「須佐之男命厄神退治之図」を描き、奉納しています。残念ながらこの大絵馬は関東大震災で焼失してしまいましたが、美術館では、この推定復元絵馬を常設展示しています。



北斎が暮らした榛馬場

生涯に90回以上もの引っ越しをしたと伝えられる北斎。天保年間(1830~44)の末頃、北斎は娘のお栄(画号は応為)と本所亀沢町の榛馬場に移り住みました。北斎の弟子・露木為一が親子の住まいの様子を絵に残しています。



露木為一画「北斎仮宅之図」(国立国会図書館蔵)

世界の北斎

北斎の作品は海を渡り、ゴッホやモネなどをはじめ多くの芸術家たちに影響を与えたといわれています。

特に「富嶽三十六景」『北斎漫画』は海外でも著名です。

作曲家のドビュッシーは「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」の影響を受け1905年に交響詩「海」を作曲したといわれており、画家のアンリ・リヴィエールは「エッフェル塔三十六景」を描いています。

1998年にはアメリカの『ザ・ライフ・ミレニアム』で「この1000年で最も重要な功績を残した世界の人物100人」の中で日本人で唯一北斎が選ばれています。



すみだ北斎美術館を支える

3つのコレクション

世界に誇る

ピーター・モース コレクション、
檜崎宗重 コレクションに加え、
墨田区が収集した良品を収蔵

世界有数の北斎作品収集家であり、研究者であったピーター・モース氏のコレクション。また、浮世絵研究の日本における第一人者といわれた檜崎宗重氏のコレクション。これに加え、北斎とその門人を中心に、保存状態や摺りの質の高さ、希少性、研究的な価値などを配慮して墨田区が独自に収集し続けているコレクションがあります。

これらのコレクションを活用し、多彩で独自のテーマの企画展を開催しております。



富嶽三十六景 神奈川沖浪裏



富嶽三十六景 武州玉川
(ピーター・モース コレクション)



富嶽三十六景 甲州石班沢
(ピーター・モース コレクション)



蹄斎北馬「夕立図」(植崎宗重コレクション)

成長する 美術館

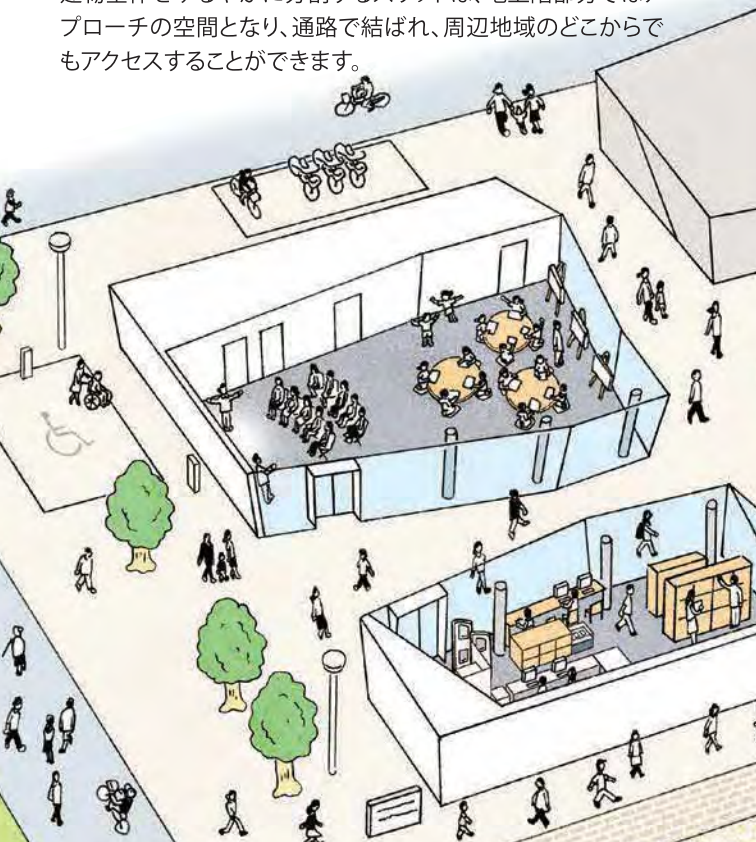
すみだで生まれその生涯の多くを墨田区内で過ごした葛飾北斎。この美術館では北斎や門人の作品を広く紹介するほか、北斎と「すみだ」との関わりなどを分かりやすく紹介していく多彩なテーマの展覧会や教育普及事業を行い、地域へ、世界へと北斎に関する情報を発信し成長し続ける美術館となり、文化振興や地域活性化の拠点となります。

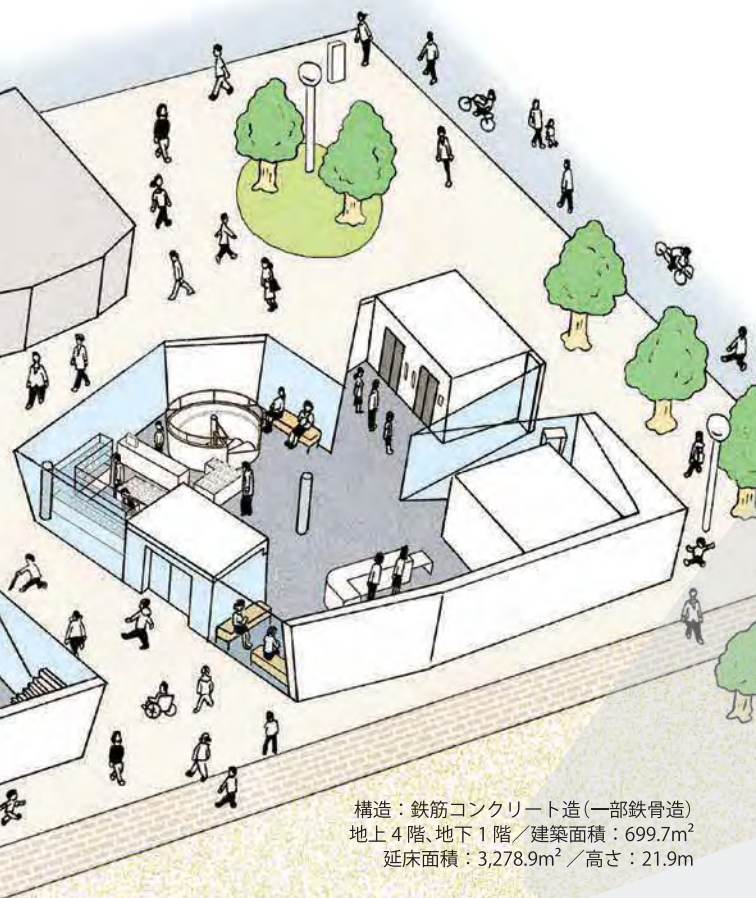
街に開き、親しまれる美術館

建築設計のコンセプトは「街に開き、地域住民の方々に親しまれる美術館」。

訪れる人が気軽に立ち寄ることができる、公園や地域と一体となった美術館です。

建物全体をゆるやかに分割するスリットは、地上階部分ではアプローチの空間となり、通路で結ばれ、周辺地域のどこからでもアクセスすることができます。

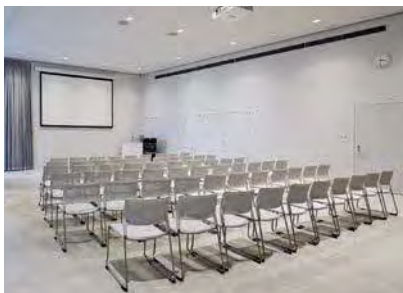




構造：鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造)
地上4階、地下1階／建築面積：699.7m²
延床面積：3,278.9m²／高さ：21.9m

フロアガイド

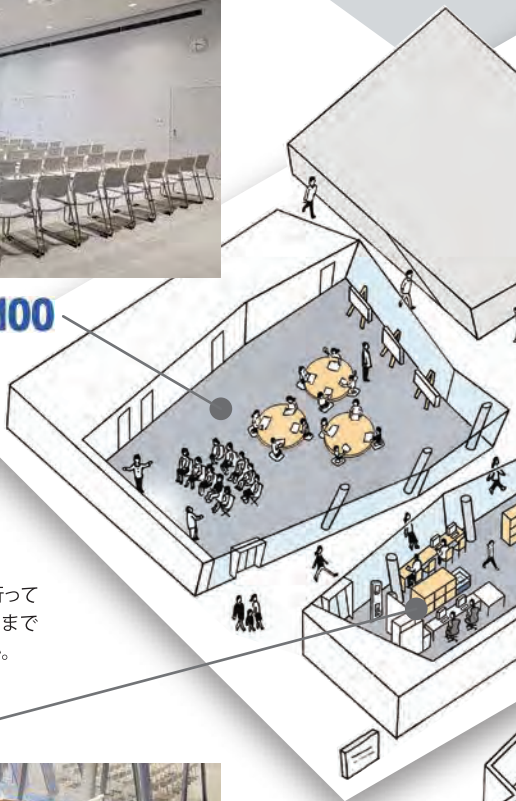
すみだ北斎美術館では、北斎や門人の作品を紹介するほか、北斎と「すみだ」との関わりなどについて分かりやすく知り、学ぶことができるように、多彩なテーマの展覧会やワークショップ、イベント等について、情報提供や情報発信を行います。



MARUGEN 100

(講座室)

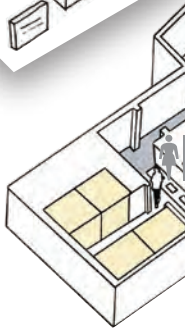
子どもから大人まで幅広い層を対象とした、北斎や浮世絵などをテーマとしたワークショップやイベント、講座、講演会などを開催します。講座室の貸し出しも行っています。詳しくは当館までお問い合わせください。



図書室



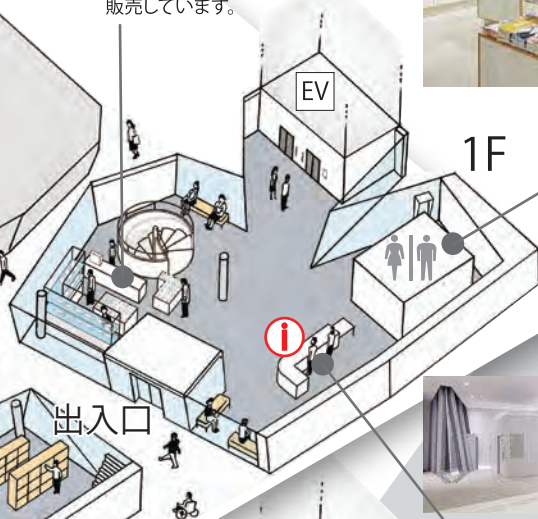
北斎や浮世絵に関する入門書から専門書、画集、図録などをゆっくりと閲覧することができます。





ミュージアムショップ

北斎や浮世絵に関するグッズをはじめ、すみだや当館ならではのグッズを販売しています。



1F

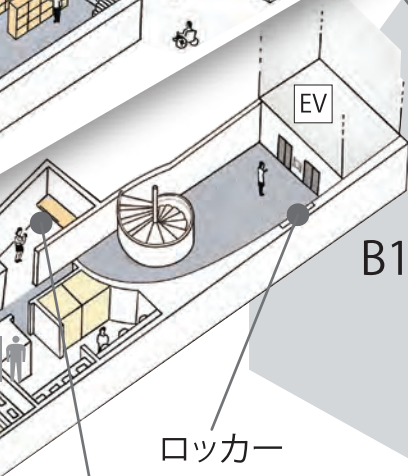
だれでも
トイレ

どなたでもご利用いただける
バリアフリートイレ
もあります。



総合案内
チケットうりば

総合案内では美術館に関する各種のご案内やチケットの販売を行っています。車イスやベビーカーの貸し出しも行っています(無料)。



B1

ロッカー

返金式のコインロッカーです。
(100円玉)

授乳室 





北斎とすみだとの関わりや北斎の生涯を作品（実物大高精細レプリカ）やタッチパネル式情報端末で楽しみながら理解を深めることができる展示室です。

北斎を学ぶ部屋

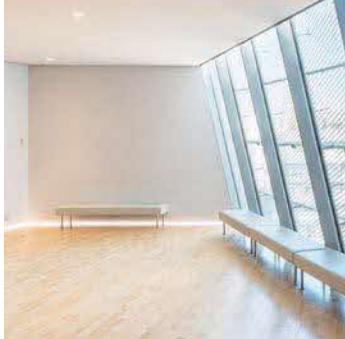
企画展示室



当館所蔵の作品をはじめ、国内外の作品も交えながら、多彩なテーマの展覧会を開催します。デリケートな浮世絵作品を守りながら展示する機能・設備を備えています。

企画展示室





展望ラウンジ

東京スカイツリー®をはじめ、すみだの風景を楽しみながらゆっくりくつろげるラウンジです。

4F



ホワイエ

休憩スペースとしてだけでなく、さまざまな展示やワークショップなどが可能なスペースです。

